



平成29年度

食と農と福祉の連携による地域の活性化

農業には、農産物の供給という役割だけでなく、憩いや癒やしを提供するといった福祉的役割も期待されます。とりわけ、農の資源が豊富にある農山漁村地域において、福祉的価値に着目してビジネスを創出し、定住人口や交流人口の増加、社会的困難を抱える人との共生の場の創出など様々な展開が考えられます。この研修では、次の点をポイントに食と農と福祉の連携による地域の活性化について考えます。

研修のポイント

- 講義や事例から、食と農と福祉が連携することでおこるイノベーションについて学びます。
- 農福連携を推進した地域の活性化について考えます。

開催要領

日程 平成30年2月21日(水)～2月23日(金) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 福祉分野と農業分野の連携に関心のある市町村の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数 40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 9,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成30年1月9日(火)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp 【ホームページ】 <http://www.jiam.jp>

平成30年

2月

21日(水)

11:00 ~

入寮受付・昼食

12:30 ~

開講・オリエンテーション

13:00 ~ 15:35

講義 地方公共団体等における農福連携の推進体制の構築について

農林水産省農林水産政策研究所企画広報室長兼首席政策研究調整官 **吉田 行郷氏**
農福連携の現状とそうした連携関係を強化するために地方公共団体が構築すべき支援体制や、地域毎に異なる課題の解決に向けたプラットフォーム構築などについて事例を交えてお話しいただきます。

15:50 ~ 17:00

事例紹介 農福連携で地域を元気に

特定非営利活動法人HUB's理事長 **林 正剛氏**
農業と福祉の課題解決が地域の活性化につながっている取り組みについてお話しいただきます。

17:30 ~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年

2月

22日(木)

9:25 ~ 10:35

事例紹介 優輝福祉会における食と農と福祉の協働の取り組み

社会福祉法人優輝福祉会理事長 **熊原 保氏**
食と農と福祉の協働による地域貢献、支援体制づくりについて優輝福祉会が取り組んでこられた事例をお話しいただきます。

10:50 ~ 12:00

事例紹介 京丸園が目指すユニバーサル農園の取り組み

京丸園株式会社代表取締役 **鈴木 厚志氏**
農業の中に福祉を取り入れて、農業を活性化させることを目指して取り組んでこられた事例をお話しいただきます。

13:00 ~ 14:30

講義 農福連携の現状と課題

一般社団法人JA共済総合研究所調査研究部高齢者社会福祉グループ主任研究員 **濱田 健司氏**
担い手不足の農業分野、就労機会を創出したい福祉分野など、それぞれの分野には課題があります。この時間では、農と福をマッチングすることによる地域活性化の可能性についてお話しいただきます。

14:45 ~ 17:00

演習 グループ討議

一般社団法人JA共済総合研究所調査研究部高齢者社会福祉グループ主任研究員 **濱田 健司氏**
自団体の農福連携についての現状や課題、実現可能な施策についてグループで討議します。

17:00 ~

課外演習

平成30年

2月

23日(金)

9:25 ~ 12:00

講義 食と農と福祉によるまちづくり

特定非営利活動法人地域福祉研究室pipi理事長 **渡邊 洋一氏**
食と農と福祉が連携することによる、地域の課題解決、コミュニティ機能の再生や向上など、事例を交えて総括的に話しいただきます。

12:00 ~ 12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。